



AS1 トレーラー/ ジョガー

使用説明書



製品登録

製品保証の適用および重要な製品通知の受領にあたって、必ずお買い上げの製品をwww.Allen.Bikeにご登録ください。



AS1 トレーラー/ ジョガー使用説明書

本使用説明書は先々の参照用に保管してください。

組み立て前に

本取扱説明書をよく読んでから本製品の組み立てまたは操作を行ってください。

本製品は大人の方が組み立ててください。

目次

セクション	ページ
1. 重要な安全情報	4
2. パーツリスト	6
3. 重要な特長	6
4. 組立説明	7
4.1 トレーラーの Karton からの取り外し	7
4.2 トレーラーの展開	7
4.3 牽引棒のリリース	8
4.4 ホイールの取り付け	8
4.5 パーキングブレーキの使用	9
4.6 フォーシーズンカバーの取り付け	10
4.7 安全フラグの設置	11
4.8 自転車へのトレーラーヒッチの取り付け	11
4.9 自転車へのトレーラーの取り付け	12
4.10 ベビーカーへのコンバージョン	13
5. 操作説明書	15
5.1 5ポイント安全ハーネスの使用	15
5.2 保管および運搬用の折り畳み	15
6. メンテナンス	16
7. 保証	16

1.重要な安全情報

注意 ⚠

取扱説明書およびすべての安全警告ラベルをよく確認したうえでトレーラーを使用してください。

重要 ⚠

トレーラーとして使用する際は、乗車者および乗り手は常に適切に調節されている承認済みの自転車用ヘルメットを着用する必要があります。国によっては、ヘルメット着用が法律で義務付けられています。

警告 ⚠

- 12か月未満の乳児の方には使用しないでください
- お子様は使用時、ヘルメット着用にて頭を上げるようにしてください
- お子様は使用時、5ポイント安全ハーネスを使用してください。AS1をトレーラーとして使用する際、乗る人は必ずバイク用ヘルメットを着用してください。
- お子様を1人にしないでください
- 常に安全な乗車を心掛けてください
- 総重量が 45キロ を超えないようにしてください
- 最高速度が25km/hを超えないようにし、右左折時やでこぼこ道では減速してください
- トレーラーの牽引時はブレーキ距離を多めに確保してください。減速し、十分以上の停車距離を確保してください。
- お子様揺り動かし、跳ね回り、または寄りかかりをしないよう注意してください
- オフロードでトレーラーを使用しないでください。トレーラーの損傷または乗車者への大きなケガにつながる恐れがあります
- 熱、冷、風、雨など極端な天候下ではトレーラーを使用しないでください。乗車者はその時の天候条件に適切な衣服を着用してください。

乗車前の安全点検

- ヒッチクランプ (hitch clamp) がピンと張っているか確認します
- ヒッチ安全ストラップ (hitch safety strap) がピンと張っているか確認します
- **シートベルトを着用してください!**シートのハーネスを確認し、荷物がすべて安全であることを徹底します
- 毎回の使用前に自転車およびトレーラーの状態を点検します
- **ヘルメットを着用してください!**乗り手とお子様ヘルメットを着用し、安全性を確保できるよう徹底します
- タイヤの空気圧を点検します。常に35~40 PSI の範囲に保ちます
- トレーラーが取り付けられる自転車ですが、取り付ける前に、正規の自転車メカニックが点検することとします。

安全ガイドライン

安全第一を心掛けてください!毎回、自転車とトレーラー双方の動作状態を点検したうえで使用してください。コンポーネントの故障、ずれや不整合、パーツの欠損を発見したら、問題を解決したうえで使用してください。

トレーラーの使用時はこうした安全ガイドラインに従ってください:

- このトレーラーは操作説明書の前半ページに記載されている方法でのお子様および荷物の運搬のみを目的としています。本ガイドラインと逸脱したトレーラーの使用は推奨されておらず、乗車者、トレーラーまたは自転車へのケガや損傷につながる恐れがあります。

- 毎回、使用前後に製品とパーツを点検してください。トレーラーの適切なメンテナンスは安全確保に不可欠です。**パーツが損傷している、または誤作動する場合には製品を使用しないでください。**
- トレーラーの組立時、必ずホイールが組立説明書記載通りに正確に、かつ固定して取り付けられていることを確認します。本トレーラーに使用されているホイールの種別に馴染みのない場合、購入場所または正規の自転車ショップに連絡して本デバイスの正しい操作方法を確認してください。タイヤの空気圧は35~40 PSI に保ち、毎回、空気圧を点検してから使用してください。空気を入れすぎるとトレーラーが跳ねたり転覆する恐れがあります。市内や街での通行向けのタイヤのみを使用し、BMX またはKnobby スレッドは使用しないでください。
- 必ずトレーラーと併用する自転車が良好な動作状態で、サイクルトレーラーの牽引に相応しいサイズと種別であり、ブレーキ性能が安定していることを確認してください。トレーラーと併用する自転車の使用についてのヒントは自転車の操作説明書を確認してください。自転車ショップでは、自転車がトレーラーと併用するのに正しい種別かどうかを判断するための点検、ならびに自転車やトレーラーの定期的なメンテナンスについてアドバイスしてくれるはずです。
- トレーラーに過積載しないでください。荷物と乗車者の荷重上限は45キロまでです。積載貨物はできる限り低く積み、トレーラーの中央に配置してください(フロント〜リア、ならびに左〜右)。追加のギアはリアに向けて配置してください。貨物はすべて位置が変わらないようしっかり固定します。**重要:**トレーラーに乗車するお子様が揺り動かし、跳ね回り、または寄りかかりをしないよう注意してください。揺り動かしたりするとトレーラーが傾いたりひっくり返ったりする恐れがあります。
- 貨物が目一杯積まれていると、ヒッチで測定されるDrawbar (ドローバー) 荷重は3~8kg の範囲を維持する必要があります。これは、トレーラーを自転車に取り付ける前に、積載されたトレーラーの牽引棒を持ち上げることで確認可能です。トレーラーに積載する際は必ずパーキングブレーキをかけてください。
- このトレーラーに他のシーティングシステムを設置しないでください。車のシート、ベビーカーのシート、乳幼児ベッド、あるいはその他の種類の座席を対象に設計されていません。本来の装置用シート以外のシーティングシステムを使用すると、保証が無効となり、トレーラーの損傷もしくは乗車者へのケガにつながる恐れがあります。
- このトレーラーをオフロードで使用しないでください。舗装道路面での使用向けに設計されています。その他の条件で使用すると、製品の損傷もしくは乗車者へのケガにつながる恐れがあります。
- このトレーラーを牽引すると自転車の操作が変更となります。停止、発車、右左折や転回は貨物の重量によって影響を受けます。変更事項に習熟するために、積載許容重量内でトレーラーに積み込んで安全な場所で実践してください。自身の自転車操作にどのように影響が及ぶか理解してからトレーラーを使用してください。さらなる安全戦略には以下が含まれます:
 - 自分に優先通行権があると思わないこと。
 - 車の運転者の行動を予測しないこと。
 - 高速道路、混み合った道路、自転車利用に安全でない場所は通行しないこと。
 - 夜間走行は控えること。夜間に走行する必要がある場合、ライトおよび明るい反射性衣服を使用してください。トレーラーには夜間にお子様を乗せて走行しないでください。使用前に、地域当局にて適切な照明および安全要件を確認して交通ルールを守ってください。
 - トレーラーが転覆しないよう、舗道や穴に寄せて駐車したり路上の障害物にぶつかったりしないでください。
 - 急な旋回は、トレーラーの転覆につながる恐れがあるため、しないでください。
 - 高スピードで走行しないでください。
 - 速度が25km/h を超えないようにし、右左折時やでこぼこ道では減速してください。高スピードを出すことで自転車操作能力に悪影響が及び、道路のでこぼこでケガや事故につながる恐れがあります。トレーラーの牽引時はブレーキ距離を多めに確保してください。
 - トレーラーをオフロードで使用しないでください。舗装道路面での使用向けに設計されています。オフロードでは、トレーラーの損傷または乗車者のケガが発生する恐れがあります。

お子様の安全を優先してください。トレーラーのシートは生後12か月以上で承認されたヘルメットを着用することのできる乗車者向けに考案されています。乗車時、お子様には頭を上に向けさせてください。小児科医にて、お子様の発達がトレーラーに乗車するうえで適切かどうか確認してください。ヘルメットは全乗車者が着用すべきとし、法律で義務付けられている場合があります。トレーラーおよびヘルメット利用に関する国内や地域の法令を確認したうえで操作してください。お子様をしっかりと座らせ、ハーネスを適切に使用するように徹底してください。お子様の座高は上部クロスバーの下とし、正しいショルダーストラップ高を使用してください。操作を確認して調整してください。フォーシーズンカバー (Four-Season Cover) は、お子様がトレーラーに乗車する際は、取り付けの必要があります。このカバーはお子様を路上の破片物から保護します。



2. パーツリスト

- (1) フレームおよびキャノピー
- (1) スリングシートおよび5ポイント安全ハーネス
- (1) 牽引棒
- (1) 牽引棒カブラー
- (2) 16” リアホイール
- (1) 安全フラグ
- (1) ストローラーキットおよびハンドルバー、ブラケット、ホイール
- アセンブリツール同梱
- ブラケットおよびリアホイールブラケット取り付け済み

3. 重要な特長

- クイックアセンブリ、テイクダウン (take down)、ストレージ
- 前向きシーティング
- 5ポイントシーティングハーネスおよびクイックロック & リリース
- フルレインカバーおよびロールアップウインドウ
- クイックリリースホイールおよびカートリッジベアリング
- ストローラーコンバージョンキット (オプション)
- ペットにも最適

Meets ASTM F1975 基準 (サイクルトレーラー向け)
カートリッジおよびストローラー向け ASTM F833 基準に適合

認証: Mechanicals and Hardgoods Lab. SGS Taiwan Ltd.
127, Wu Kung Road, Wuku Industrial Zone, Taipei County, Taiwan
TW-24803 - Taipei
登録番号: TAF1053

説明をすべて読み、注意して内容を確認したうえで組み立ててください。

4.組立説明

4.1 トレーラーの Karton からの取り外し

トレーラーを Karton から取り外し、パーツリストを使って内容物を確認してください。

警告: プラスティックバッグとプラスチックの包装材料はすべてすぐに処分してください!

重要: 手順4.4 までは、輪軸から白色の泡(フォーム)を除去しないでください

4.2 トレーラーの展開

フレームを引き、中からコンポーネントをすべて取りだしてトレーラーを展開します。ウインドウチューブは右側と左側の2本のバーで構成されており、ウインドウフレームチューブの後ろ半分にあるスプリングピンで結合されています。組み立てるには、ファブリックスリーブを前にスライドさせ、フレームチューブの端に触れさせます(図1)。次に、チューブの残り半分をフレームチューブの端にスライドさせます。スプリングピンを押し下げ、チューブをくっつけてスプリングピンが固定されるようにします(図2)。

ウインドウチューブが組み立てられたら、ファブリックを所定位置に戻すようにスライドし、リアフレームチューブを持ち上げてコネクタをウインドウチューブ内の穴に合わせます。(図3 & 4)。クイックリリースピンを挿入してロックするピンを閉じます。(図5)。これでフレームが組み立てられました。



図1



図2

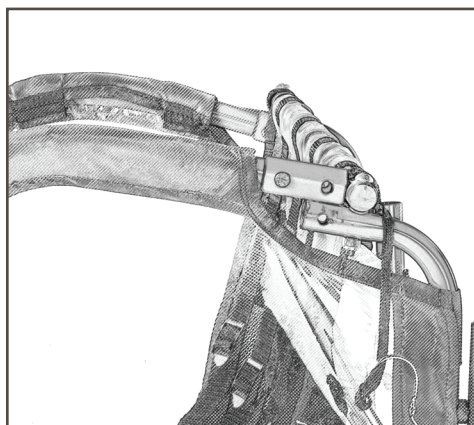


図13

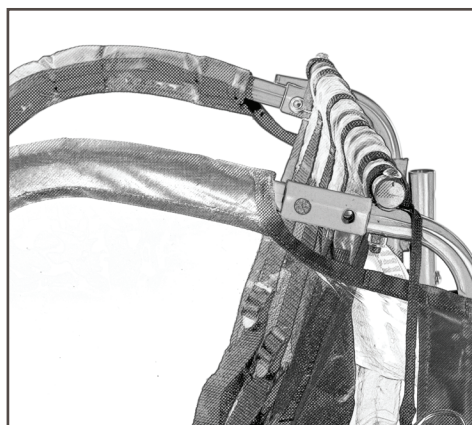


図4

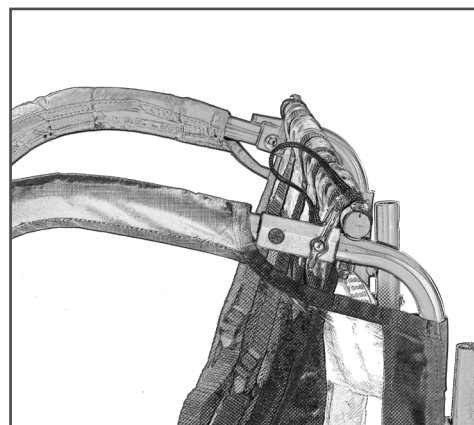


図5

重要: 安全にご使用頂くために、右と左の2つのウインドウチューブは必ず完全に取り付けられた状態で使用しなければなりません。正確にはめ込んだうえでスプリングリリースピンで固定してください。適切にはめ込まれていないと、フレームがつぶれ、トレーラーの損傷や乗車者のけがにつながります。スプリングリリースピンが適切にはめ込まれていない場合は使用しないでください。

注記: 運搬又は保管で折りたたむ際はウインドウチューブとリアバー部分のはめ込みを外す必要があります。

4.3 牽引棒のリリース

1. ヒッチアームがトップエッジに沿うように、トレーラーを横に向けます (図6)
2. 牽引棒ブラケットで牽引棒を固定しているクイックリリースピンを確認します。
3. クイックリリースピンのループを開いてピンを取り外します。
4. ヒッチアームを、Uチャンネルに収まるまで、前方に回転します (図7)。ピンをUチャンネルのフロント穴に再挿入し、スナップピンを閉じ、ピンロックのループがピンシャフトの上になるようにします (図8)。



図6

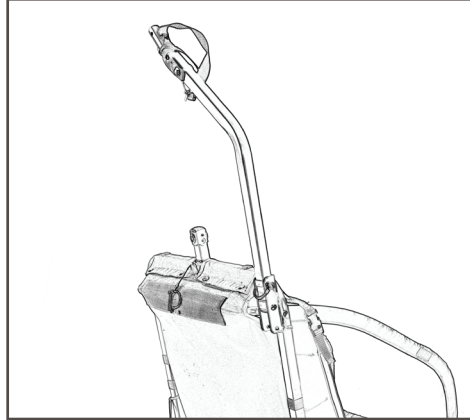


図7

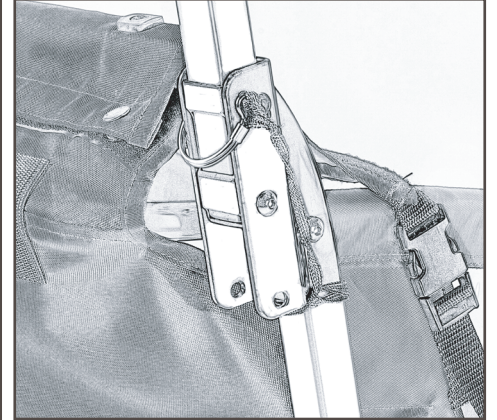


図8

4.4 ホイールの取り付け

1. 輪軸からフォームを取り外し、すぐに処分します。ウォッシャーは取り外さないでください。
2. ホイールおよびスタブ車軸を左ホイールブラケットの穴の隣に配置します (図9)。
3. スタブ車軸をブラケットの穴を完全に通過するようにスライドさせ、ホイールが使用位置になるようにします (図10)。
4. トレーラーフレームを傾け、トレーラーの下面にアクセスできるようにします。穴をハブ軸の端に配置します。
5. (ホイールブラケット近くのバイクフレームにつながれている) クイックリリースピンをスタブ車軸の穴を通過するようスライドさせ、ピンのシャフトの上の末端を輪状にします (図11)。もう一方のホイールについて以上の手順を繰り返します。

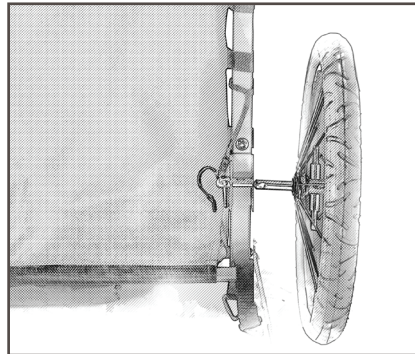


図9

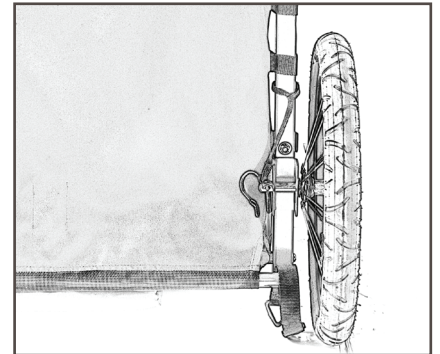


図10

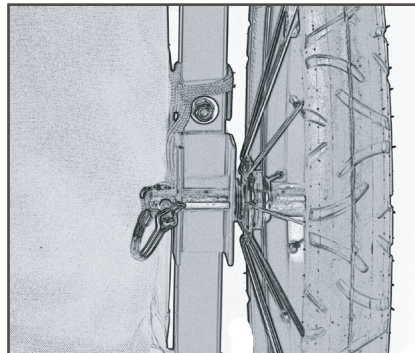


図11

注記:ホイールは適切に取り付けられ、クイックリリースピンが閉じられ、パチンと閉じられる必要があります。クイックリリースピンが正しく取り付けられていないと、ホイールが落ちてしまう恐れがあります。クイックリリースピンが欠損している、もしくはクロージャージャーが損傷または欠落している場合は、使用しないでください。

4.5 パーキングブレーキの使用

トレーラーには安全性強化目的でストラップパーキングブレーキが搭載されています。積載や荷下ろし、またはトレーラーの駐車の際は、パーキングブレーキをかけてトレーラーが移動しないようにしてください。

トレーラーのストラップブレーキはリアホイール付近にあります。ブレーキがかかるプロセスですが、ストラップブレーキがスポーク（輪留め）をつないでから、留められてロックされます（図17）。安全面から、使用しない際は、ストラップをフレームに巻き付け、閉位置で留めてフレームに固定します。

重要:トレーラーの積載または荷下ろしの際は必ずブレーキを使用し、操作にあたっては先にブレーキをリリースしてください。ブレーキがかかった状態では走行しないでください。



図16



図17

4.6 フォーシーズンカバーの取り付け

1. フォーシーズンカバー (Four-Season Cover) ですが、ロールアップウィンドウがトレーラーのフロントサイドを向くように、トレーラーの上に配置します (図18)。
2. Velcro 補強固定ストラップを巻き付け、カバーをフレーム全体に固定します (図19)。
3. カバーのボトムフロントでVelcro 素材が下方フロントファブリックパネルのVelcro 素材に合わせて固定します。
4. ウィンドウを下げ、フックをDリングに留めて固定します (図20)。

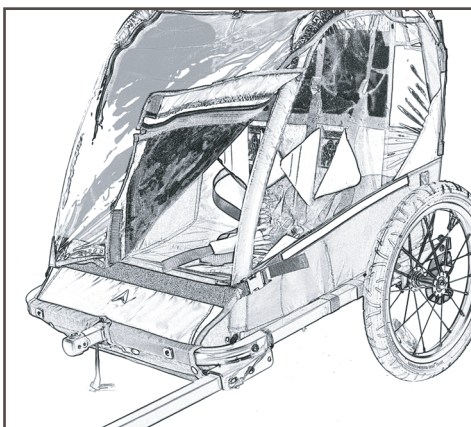


図18



図19

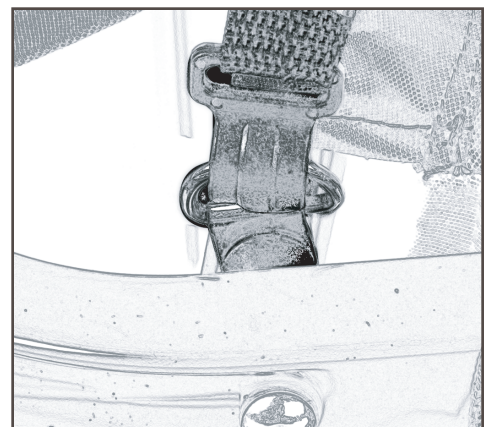


図20

フォーシーズンカバーの巻き上げ

フォーシーズンカバー (Four-Season Cover) は乗車者および貨物を悪天候でも乾燥した、暖かく保つよう考案されています。また、乗車者を飛来する破片から保護します。フォーシーズンカバー (Four-Season Cover) は暑い気候の際は通気性を高めるために巻き上げることが可能です。弾性クローザー (図21) は、巻き上げられた状態のフォーシーズンカバー (Four-Season Cover) を固定します (図22)。

警告: フォーシーズンカバー (Four-Season Cover) なしではトレーラーを使用しないでください。フロントウィンドウまたはバグスクリーンを取り付けてお子様を飛来する物体から保護する必要があります。

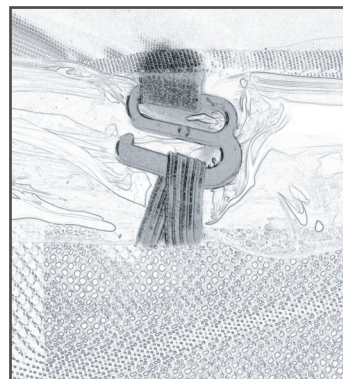


図21

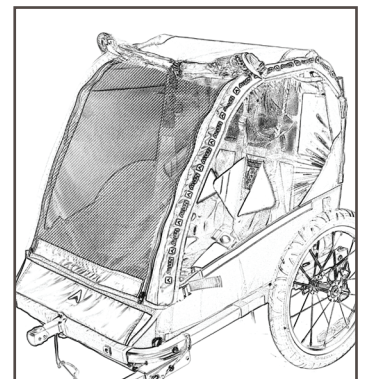


図22

4.7 安全フラグの設置

1. 3ピースの安全フラグを特定し、組み立てます。
2. トレーラーキャビンファブリック内でフラグポケットを探し、フラグをポケットに挿入します(図23)。
3. フラグを取り外してからトレーラーを折り畳みます

4.8 自転車へのトレーラーヒッチの取り付け

ボルト締め対応の後車軸

1. ボルト締め対応のリアホイールについては、左側の後車軸を緩めてヒッチをフレームに取り付けられるようにします。
2. ヒッチを自転車フレームの左後車軸の上に配置し、軸ナットの置き換えとします。しっかりと締め、ヒッチタブが自転車のリアを向き、地面とほぼ平行となるようにします(図24)。
3. 軸ナットがある程度固定されているかテストします。トレーラーヒッチは手で回転させることができないはずです。

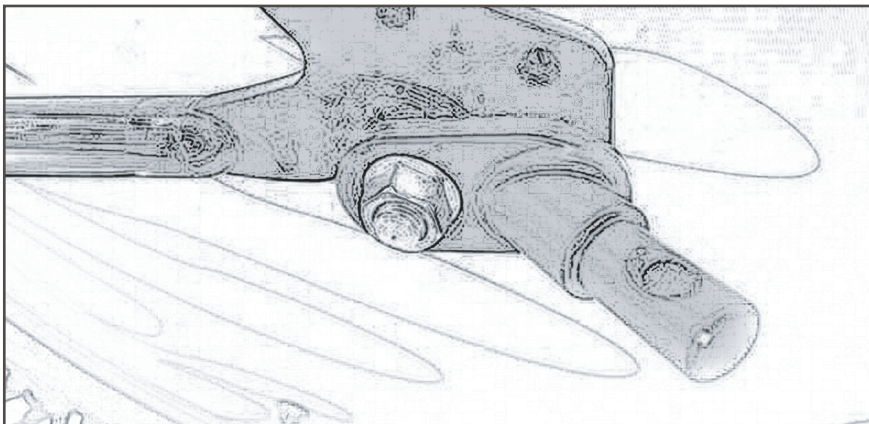


図24

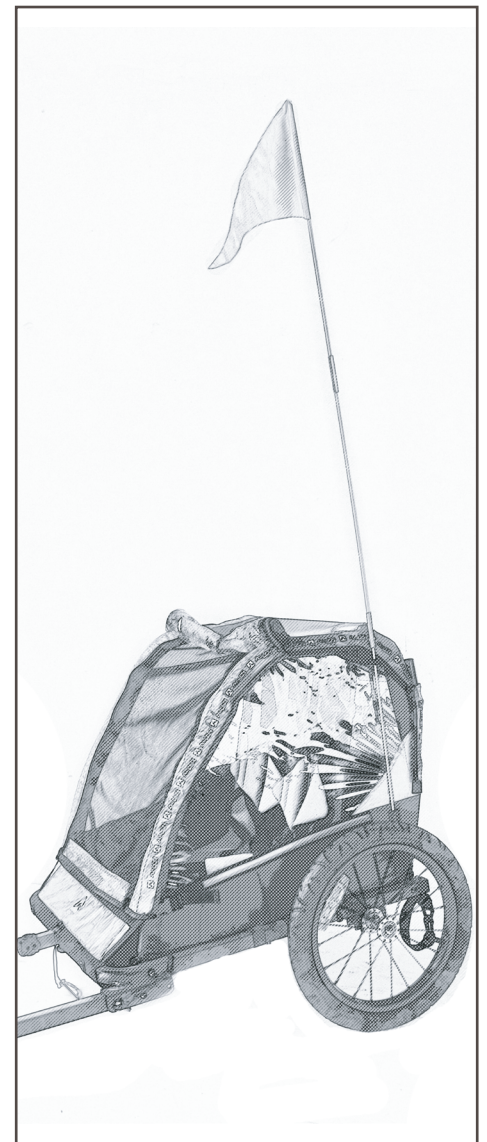


図23

クイックリリース軸

1. クイックリリースリアホイールについては、レバーを緩め、クイックリリーススキューア(skewer)を取り外します。ホイールは取り外さないでください。
2. ヒッチをスキューアへとスライドさせ、アングルタブが外を向くようにし、スキューアを軸に再度取り付け、ヒッチタブが自転車のリアを向き、ほぼ地面と平行となるように配置します(図25)。
3. クイックリリース軸を締め、ホイールとピンをある程度固定します。トレーラーヒッチは手で回転させることができないはずです。閉位置の時にクイックリリース軸がきつすぎる、または緩すぎる場合、レバーを開き、ナットを緩めるか締めるかして軸がしっかり締まっているのを確認します。

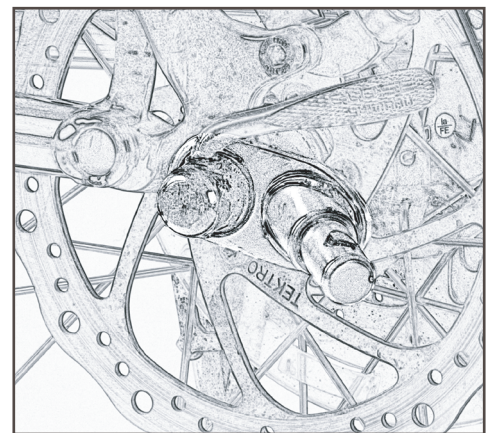


図25

警告:安全上、クイックリリース軸は正しく使用する必要があります。正しく使用しないと、ホイールが落下するか、または緩んでしまい、事故やケガにつながる可能性があります。クイックリリース軸の操作に慣れていない場合、自転車の専門家にガイダンスと指示を仰いでください。

4.9 自転車へのトレーラーの取り付け

1. トレーラーの牽引アームを自転車フレームのトレーラーヒッチに合わせるように配置します。牽引アームフレックスカプラーをトレーラーヒッチ上でスライドさせ、牽引アームの穴とヒッチの穴を合わせます (図26)。
2. クイックリリースピンを牽引アームとヒッチに挿入し、ピンを閉じてロックします (図27)。
3. 安全ストラップをフレームの下方チェーンステイに通し、ブレーキまたはその他の稼働コンポーネントに干渉しないよう注意します。牽引アームのDリングに留めます (図28)。

警告:安全ストラップですが、この製品をトレーラーモードで使用する際はバイクフレームに取り付ける必要があります。

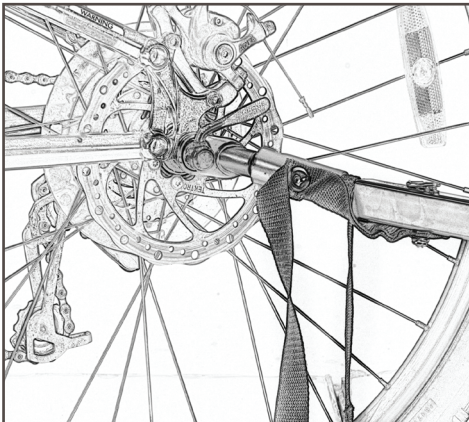


図26

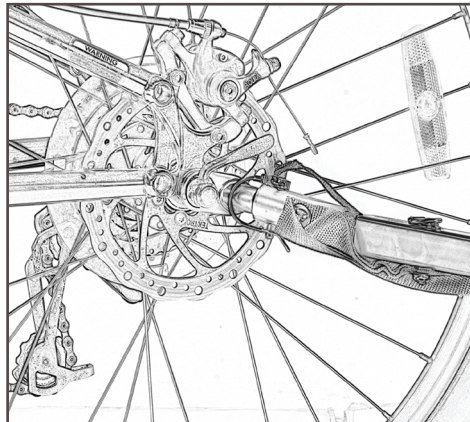


図27

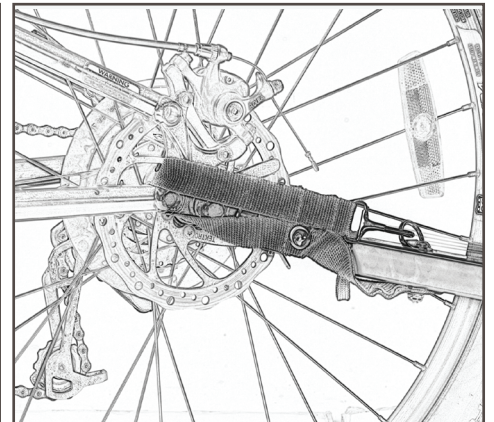


図28

トレーラーの自転車からの取り外し

1. トレーラーを自転車から取り外すには、上のように安全ストラップをリリースします。
2. クイックリリースピンを、ヒッチアームをブラックヒッチに結合しているチューブから取り外します。
3. ヒッチアームを引き寄せ、トレーラーを自転車に残っているブラックヒッチから解除します。

注記:便宜上、トレーラーを手軽に複数の自転車に取り付けられるよう、追加のヒッチエンドを購入することが可能です。詳しくは小売店に確認してください。

4.10 ベビーカーへのコンバージョン

トレーラーには、状況に応じてベビーカーに手軽にコンバージョンできるよう、ベビーカーキットが同梱されています。お子様をお好みの場所までトレーラーで運搬するのは快適ではありますが、目的先でベビーカーにコンバージョンできれば、選択肢の幅が広がります。公園または海辺にトレーラーで移動したら、瞬時にベビーカーにコンバージョンすれば、買い物、ハイキング、海辺の散策を楽しむことができます。コンバージョンには少し時間がかかりますが、快適なハンドルバー、短いホイールベース、そしてスイベルホイールによってお子様をスムーズかつ容易に運搬することが可能です。さらに、もちろん、5ポイント安全ハーネスを使ってベビーカーの中でお子様をしっかり固定することができます。



図29

パーツリスト

- (1) ハンドルバー
- (1) 安全リストストラップ
- (1) フロントスイベルホイール & フォークアセンブリ
- (1) スイベルホイール取り付けブラケットおよびハードウェア
- (1) クイックリリースピンおよびストラップ

取り付け

1. スイベルホイールをクイックリリースピンを使ってホイール取り付けブラケットに取り付けます (図30)。
3. ファブリックをフロントクロスバー周囲から取り外します。
3. フロントフレームチューブの中央でベビーカーホイール取り付け穴を特定します。
4. ホイールブラケットをフレーム上にスライドさせ、ロケーターピンをフレームチューブの前面にある小さな穴にフィットさせます (図31)。
5. ブラケットの一番上にある穴に固定ボルトを挿入し、ナットをブラケットの底部のボルトに通してしっかりと締めます (図32)。

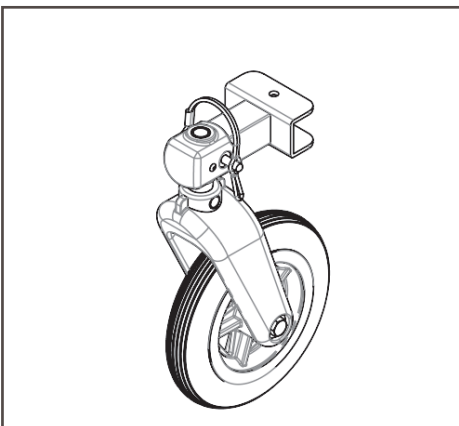


図30

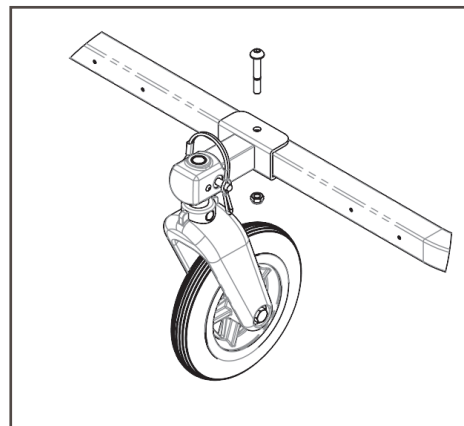


図31

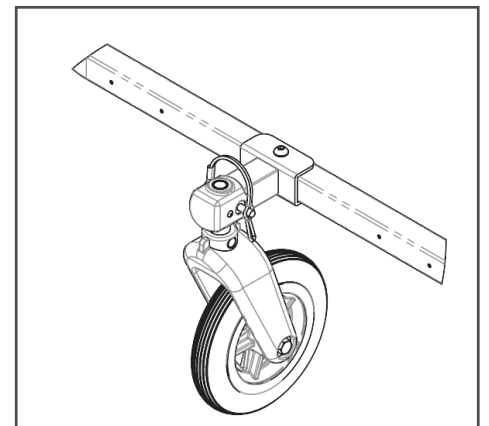


図32

取り付け(続き)

- クイックリリーススピンのストラップをフレームに巻き付け、ストラップのループに再び通してフレームに固定します。
- 下方トレーラーファブリックをフロントフレームに再度取り付け、巻き付けてスナップを固定します。
- スイベルホイールの軸をブラケットに挿入してから、クイックリリーススピンをぶらっ毛との穴に挿入し、クイックリリーススピンを閉じた状態で留め、ホイールを固定します(図33)。
- トレーラーを直立させ、フレームのリアのブラケットに固定されているハンドルバーを探します。ハンドルバーのスプリングピンを押し、ハンドルバーチューブが、スプリングピンが留められるまで、ブラケットへとスライドするようにします(図35)。挟まったり干渉したりしないよう、同時にハンドルバーの左右を挿入してからスプリングピンを押し下げるのが賢明です。すると、両側が容易に留まります。取り外すには、単純にピンを押し下げてハンドルバーを引っ張ります。
- 図のように、リストストラップをハンドルバー周りをループさせます(図36)。お子様をベビーカーに乗せて押す際は必ず安全リストストラップを使用してください。この機能により、落下または不意に気が緩んだ場合でもトレーラーを制御し続けることができます。

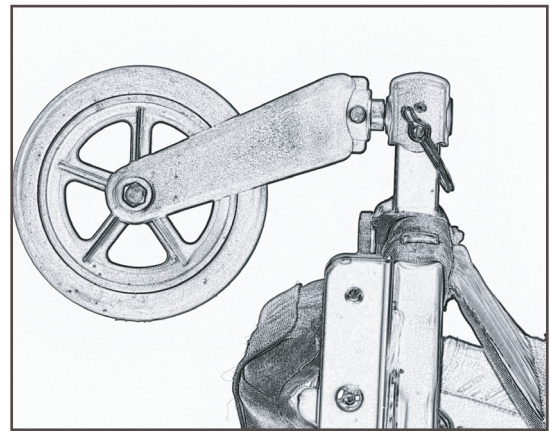


図33

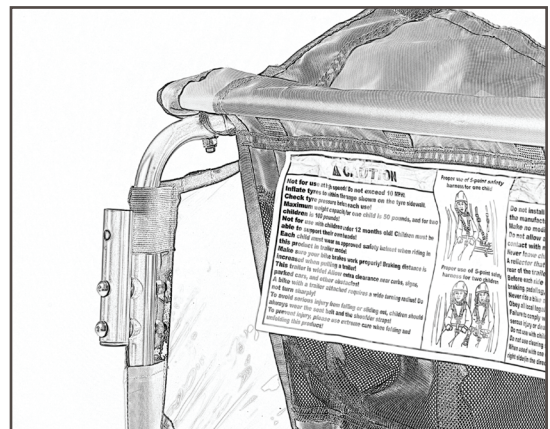


図34

オプションのベビーカーキットの使用

取り付けたら、トレーラーからベビーカーへのコンバージョンは数秒で済みます。

- 固定されているクイックリリースピンを取り外してトレーラーアームを解除します。アームをトレーラーの下へ折り畳んでから、ピンを再度はめ込んでアームをフレームの下に固定します。
- フロントホイールをフロントフレーム上のブラケットに挿入し、クイックリリースピンを固定すると、ホイールの準備完了です。
- 上記のようにハンドルバーを取り付ければ、出発準備完了です。好みに合わせ、自転車での牽引時に、ハンドルバーはトレーラーに配置したままにしておくことができます。

重要: ベビーカーの積載または積み下ろし時には必ずパーキングブレーキを使用してください。お子様を1人にしないでください必ず安全ハーネスを使用してください。



図35

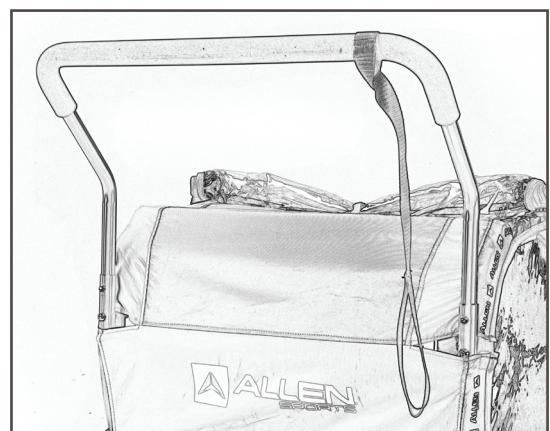


図36

5.操作説明書

5.1 5ポイント安全ハーネスの使用

1. ラップベルトバックルを解き、Dリングからショルダーストラップとクロッチストラップを外したらお子様を座させます。
2. ラップベルトをお子様の膝の上で留め、ベルトがピンと張るまでストラップを引きます。
3. 2つのセンターショルダーストラップをお子様の肩越しに配し、両方のストラップをセンタークロッチストラップのDリングに固定します。
4. お子様の座高に合わせてショルダーストラップの高さを調節し、ピンと張るまでストラップを引きます。

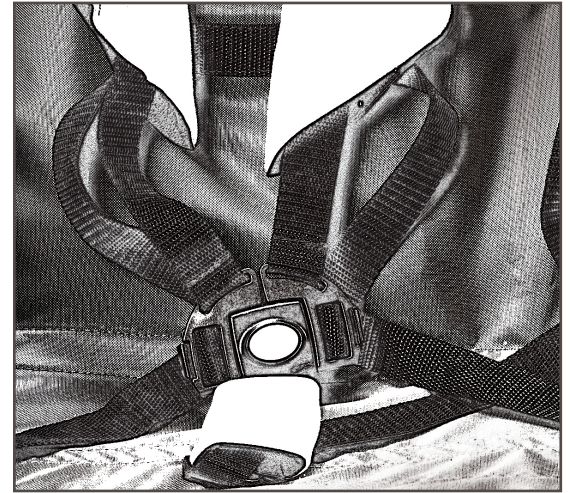


図37

重要: 大きなケガを防ぐために、お子様には必ずシートベルトとショルダーストラップを着用させてください!クロッチストラップとショルダーストラップがお子様の胸ではなく、お腹の位置で合うようにストラップを調節します!

乗車者の下車

お子様または貨物をトレーラーから積み下ろす前に、自転車を停車させ、トレーラーのパーキングブレーキを両輪にかけてください。続いて、パッセンジャーコンパートメントのウインドウを開き、安全ハーネスを解除して乗車者をトレーラーから下車させてください。トレーラーに取り付けられている自転車が積み込みや積み下ろし中に落下しないよう注意してください。

5.2 保管および運搬用の折り畳み

1. お子様とすべての貨物をパッセンジャーコンパートメントから積み下ろします。
2. Dリングから牽引棒安全ストラップを解き、ピンに続いてヒッチをフレームから取り外します。
3. 牽引棒Dリングにストラップの端を留めます。
4. フラグとポールを取り外し、セクションを分離します。
5. リアホイールのスタブ車軸からクイックリリースピンを取り外します。
6. トレーラーのフロントコーナーにある牽引棒からクイックリリースピンを取り外します。
7. 牽引棒を再びトレーラーの下にしまい込んで、クイックリリースピンを牽引棒およびUチャンネルに戻します。
8. ホイールとフラグをパッセンジャーコンパートメントの中に配置してフロントカバーを閉じます。
9. 図のように上部キャビンを収めます(図38):
 - a. フォーシーズンカバーの取り外し。
 - b. 上部フレームからクイックリリースピンを取り外し、両側から引き離します。
 - c. 図のように、トレーラーがぺちゃんこになるまでフレームを畳みます(図39)。

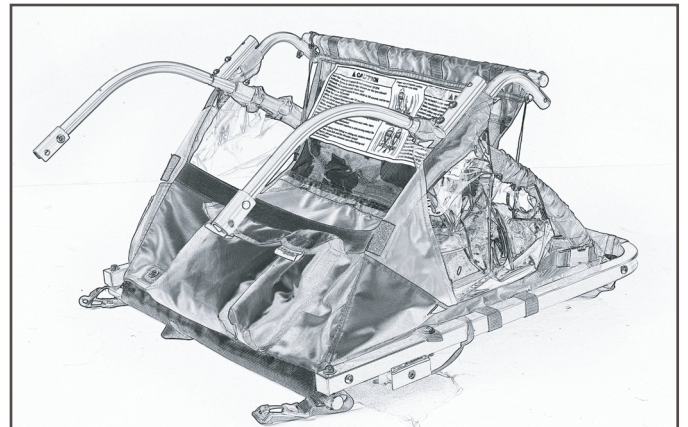


図38

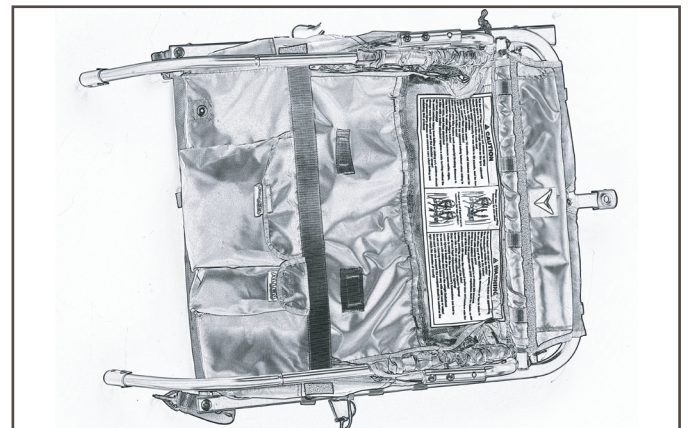


図39

6.メンテナンス

毎回、運転する前に、摩耗や損傷の兆候がないかトレーラーを点検してください。タイヤに空気を入れ、タイヤのサイドウォール記載の空気圧に調節し、摩耗や損耗を確認してから運転してください。空気の入れすぎにならないよう推奨の手押しポンプを使用してください。締まり具合を確認するためにナットとボルトを点検し、ホイール、フレームおよびヒッチのクイックリリースピンが固定されていることを確認してください。年に1回、認定の自転車技師によるトレーナー点検を受けることが推奨されています。トレーラーファブリックは石けんと水で洗淨し、自然乾燥させることが可能です。ファブリックは洗濯機で洗うことはできません。

7.保証

保証の詳細確認先：www.Allen.Bike。

製品に保証サービスが必要な場合、小売店には返送しないでください。

お問い合わせ：

ALLEN SPORTS USA

CUSTOMERSERVICE@ALLEN.BIKE

(800) 722-5536

返品および交換はすべて、製品をご購入になった小売業者の返品ポリシーに従うこととします。

詳細を確認する

説明動画やオンラインマニュアル等の詳細については、
ALLEN CARE (www.Allen.Bike) にアクセスしてください



ALLEN[®]
SPORTS

www.Allen.Bike

R. A. ALLEN CO., INC. - P. O. Box 8446; Asheville, NC 28814, USA

製品設計：米国、製造国：中国（寧波）

詳細確認：Allen Care (www.Allen.Bike)